

薬師寺食堂出土の瓦磚類

—第500次

薬師寺食堂出土の瓦磚類について報告する。発掘調査は2012年度に実施した（平城第500次）。調査の概要は『薬師寺－旧境内保存整備計画にともなう発掘調査概報Ⅰ』2013年（以下『概報』と略す）、『紀要2013』において報告した。しかし、出土した瓦磚類の総量が極めて多く、概要報告時点では整理作業が未完であった。この度、瓦磚類の整理が終了したので以下に報告する。

薬師寺出土軒瓦の型式番号は『薬師寺報告』に準拠する。今回新型式を設定するにあたり、既存の型式番号と類似した文様の軒瓦については、型式番号の後にアルファベットをつけて区別した。既存型式をA、新種はB、Cとした。新型式の番号は将来、型式一覧作成時に改めて再構築することを期し、今回は暫定の番号とする。

軒丸瓦 図293-1・2は中房の蓮子が二重以上、複弁八弁で独立間弁、外区内縁の珠文帯の内外に圈線があるなどの点が共通する。しかし、中房の蓮子数と蓮弁の大きさの違いから、既存型式を37A（1）、新出資料を37B（2）とした。3、4、5は単弁六弁で珠文帯を巡らす小型の軒丸瓦である。76A（3）は弁端が尖り外区内縁に接して内縁より高く反り上がる。外縁には輻射文を飾る。76B（4）は第223-3次調査（宝積院）出土の新種で、子葉が76Aより長く先端が尖り、蓮弁端は外区内縁に接するも反り上がらない。76C（5）は新出資料で、弁端を丸く納めるが稜線の先端は外区内縁より高く突出する。76B・Cには輻射文はない。6は単弁八弁、蓮子1+6の興福寺食堂38型式と、7は2片が接合し、単弁十七弁で中房周囲に蕊を飾る興福寺食堂40型式と同範であろう。以上は平安時代の瓦である。

8は左巻二巴、外区に珠文、珠文の外に圈線ではなく、巴頭は分離する。1点出土。こうした特徴は105・106型式に近いが、巴尾が圈線と連結しない点が大きく異なるため、既存型式の新種とはしなかった。9・10は左巻三巴、外区内縁は珠文、珠文外の圈線なし、巴頭が接し巴尾は連結して圈線となる。既存の154A（9）に近いため、新出の10を154Bとする。鎌倉時代の瓦であろう。

軒平瓦 11・12・13は小型の軒平瓦である。文様は左右3回反転の均整唐草文で上外区のみ珠文を飾る。こ

の特徴は既存型式の273A（11）と共に通するが、新出の273B・C（12・13）は左右第3単位が主葉のみとなり、BとCは支葉の様相が異なる。瓦当の大きさから76型式と組み合う可能性が高い。新出の281B（15）は外区が無文の宝相唐草文で、281A（14）によく似るが、中心の宝相華文やそこからのびる第1単位の主葉のとりつき位置が異なる。新出の17は324A（16）と類似するため324Bとした。18と19は既存型式に類似品がなく破片なので、型式番号の設定を保留する。各1点出土。顎の形状が平安時代後期に属する。以上は平安時代の軒平瓦である。

20は左巻二巴であるが、300A（21）とは巴の大きさや形が異なるため、20を300Bとした。既報告の「仁治寺薬師寅壬」305型式のほか、同銘で異範の306型式（22）も出土した。この2型式は鎌倉時代の瓦である。

23～26は近世の瓦で薬師寺では新出の型式である。372型式（23）は橘唐草文、373型式（24）は三葉文の葉頭が二又、三又に分かれる。374型式（25）は橘唐草文の軒棟瓦である。375型式（26）は中心文が不明だが、唐草文に特徴があるため新型式とした。

このほか、綠釉で方形の垂木先瓦が2点出土した。胎土の色調は淡褐色を呈し、焼成は軟質、厚さは1.0cmあり、縁辺部が一部残存する。奈良時代の瓦であろう。

本調査で出土した瓦磚の種類と量は表42に示した。奈良時代の創建瓦は他の堂塔と同様に6276A-6641G・H、補足瓦として6304E-6664Oが組む。つぎに軒丸瓦39型式と軒平瓦245・254型式が目立つ。この3型式は寛弘2年（1005）竣工の再建食堂に使用した軒瓦であろう（『概報』）。軒丸瓦42・43型式、軒平瓦240・241・246型式も再建時の瓦である¹⁾。軒平瓦323型式は平安時代後期III（1090～1180）、281・285型式も同時期の瓦である²⁾。永万元年（1165）に別当行恵が志した堂塔修造の瓦の可能性がある。しかし、これらと組む軒丸瓦は不明である。

鎌倉時代の軒丸瓦は145型式を筆頭に、102・108～110・113・115・119・123型式がある（『薬師寺報告』）。いずれも巴文の軒丸瓦である。これらに組み合う軒平瓦は303・305・306・318型式があげられよう。このうち305・306型式は「仁治壬寅」が仁治3年（1242）なので、このころに屋根の補修があったのだろう。（今井晃樹）

註

1・2) 山崎信二「大和における平安時代の瓦生産（再論）」『古代瓦と横穴式石室の研究』2003。



図293 第500次調査出土の新型式の軒瓦 (1 : 4) *は第500次調査以外の参考資料

表42 第500次調査出土瓦磚類集計表

軒丸瓦			軒平瓦			軒棧瓦			軒丸瓦			軒平瓦			軒棧瓦				
	種	点数		型式	種	点数		種類		点数			型式	種	点数		型式	種	点数
6132	A	2	6641	G	58	葉374		1	葉134	1	葉318		3						
6276	Aa	8		H	12	時代不明		1	葉137	1	葉322		3						
	Ab	5		I	1				葉141	1	葉322?		1						
	A	9		?	4	軒棧瓦計		2	葉145	16	葉323		20						
	E	6	6663	F	1				葉145?	1	葉324B		1						
6304	Ea	4		H	1	その他			葉147	3	葉324		1						
	Eb	3		I	1	丸瓦(ヘラ書)		8	葉149	1	葉333		1						
	E	5		?	1	(刻印・中世)		1	葉154B	1	葉352		1						
6307	C	1	6664	O	8	(刻印)		13	葉154	1	葉361		1						
葉006	3	6665	B	1		(刻印?)		1	葉168	1	葉364		3						
葉006?	1	6685	F	1		平瓦(ヘラ書)		4	葉170	1	葉366		1						
葉031	1	6691	A	1		(刻印)		32	葉172	1	葉367?		1						
葉032	1	6701	A	1		隅切平瓦		13	葉173	2	葉368		1						
葉035	1	6719	A	1		鬼瓦		5	葉174	1	葉371		2						
葉036	1	葉226		2		(古代)		1	葉179	2	葉372		1						
葉037B	1	葉236?		1		(中世)		1	葉190	1	葉373		1						
葉038	1	葉237		2		(中世?)		1	葉193	2	葉375		1						
葉039	34	葉239?		1		(近世前半)		1	葉195	1	平安		8						
葉041	1	葉240		4		鬼瓦?		1	葉195?	1	古代		35						
葉042	5	葉241		4		熨斗瓦		9	葉196	1	古代~中世		1						
葉043	3	葉244		6		(近世)		1	葉197	1	中世		5						
葉044	1	葉244?		1		(刻印)		1	食堂038	1	近世		9						
葉047	2	葉245		20		箱熨斗瓦		3	食堂040	2	近世後半		3						
葉047?	2	葉245?		1		面戸瓦		10	巴	11	型式不明(奈良)		17						
葉050	1	葉246		2		雁振瓦(近世)		1	(古代~中世)	1	時代不明		34						
葉053	1	葉254		22		伏間瓦		5	(中世)	23									
葉056	1	葉263		1		伏間瓦?		1	(中世?)	3									
葉064	1	葉263?		1		角棧伏間瓦		1	(中世~近世)	1									
葉068	1	葉267?		1		目板瓦		3	(近世)	9									
葉070	1	葉269		1		鳥糞		2	(近世後半)	1									
葉076A	3	葉272		1		(中世)		1	(近世以降)	1									
葉076B	3	葉273A		2		鳥糞?		1	平安	27									
葉076C	1	葉273B		1		垂木先(緑釉)		2	古代	43									
葉084	1	葉273C		2		隅木蓋		3	古代~中世	1									
葉085?	1	葉278		1		留蓋		1	中世	9									
葉087	1	葉281A		1		磚		5	中世~近世	2									
葉102	1	葉281B		3		刻み磚		2	近世	7									
葉108	1	葉285		3		敷磚		2	近世(入隅)	1									
葉110	4	葉290		1		瓦製円盤		1	型式不明(奈良)	19									
葉113	3	葉291		4		用途不明道具瓦		24	時代不明	71									
葉115	2	葉294		1		(近世)		1											
葉119	1	葉298		1		凝灰岩		147											
葉123	1	葉300B		1		土管		38	軒丸瓦計	409	軒平瓦計		361	その他計		353			
葉128	1	葉303		8		レンガ(近代)		1											
葉129	1	葉303?		2		メダル母范?(現代)		5	丸瓦		平瓦		磚		凝灰岩		レンガ		
葉131	2	葉305		6					重量	3910.87kg	11862.19kg		63.651kg		1395.133kg		3.813kg		
葉132	1	葉306		6					点数	28261	117143		91		2812		2		